

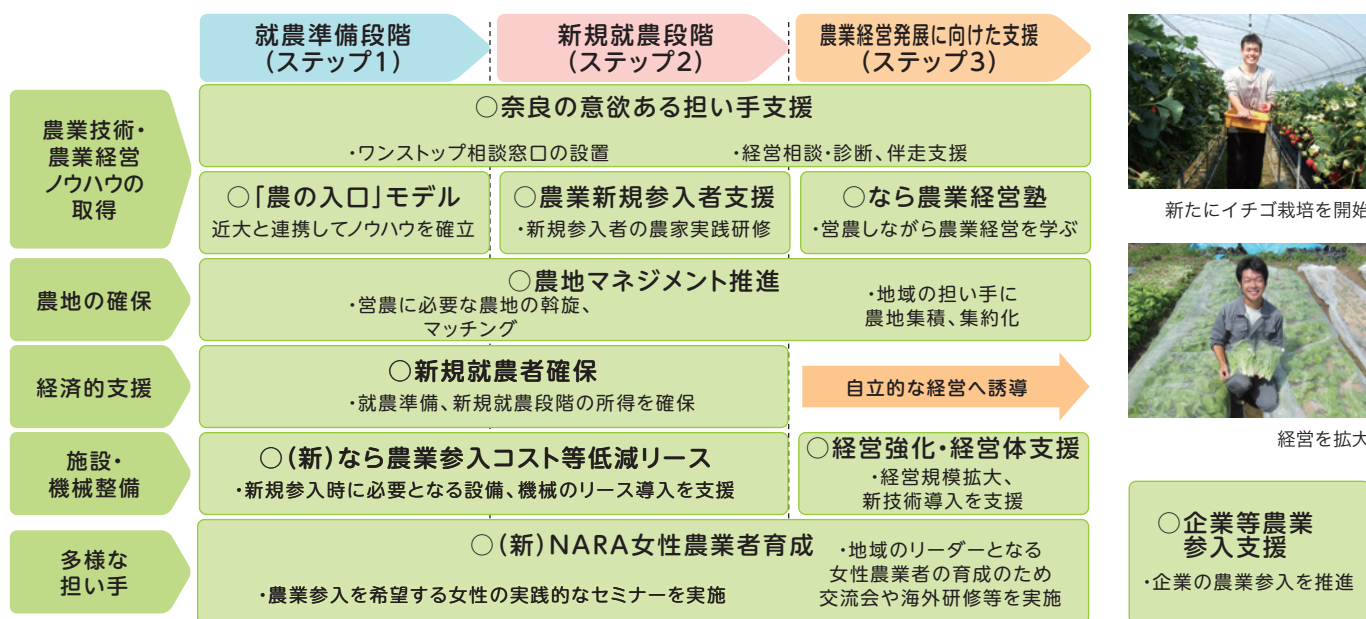
# 農・畜産・水産業の振興と農村活性化や、林業・木材産業の振興と新たな森林環境管理体制の構築を進めます。

## 農業の担い手対策を強化します。

担い手の状況に合わせて段階的に育成を図る事業を組み合わせ、技術、経営能力の向上と新規就農者の参入を図ります。特に多様な担い手の農業参入を支援する対策を強化します。

### 平成30年度の主な取組

関連予算 H30:464百万円 H29・2月補正:64百万円  
(H29:508百万円)



新たにイチゴ栽培を開始



経営を拡大

### ○企業等農業参入支援

・企業の農業参入を推進

## NAFICを核とした賑わいづくりを進めます。

なら食と農の魅力創造国際大学校(通称:NAFIC)とオーベルジュの機能や立地を活かし、新たにセミナーハウス等を設置し、「食」と「農」の魅力発信により、地域の交流人口の増加を図り、中山間地域の活性化につなげます。

### 平成30年度の主な取組

関連予算 H30:20百万円 H29・2月補正:399百万円  
(H28・2月補正:459百万円)

#### ○NAFIC周辺施設の充実

- ・セミナーハウスの整備推進
- ・農と林の直売所や漢方・薬草をテーマとした集客施設の基本計画策定

#### 【セミナーハウスの用途】

- セミナールーム:「食」や「農」のセミナー、コンテスト、研修等の催しを実施
- ゲストルーム:セミナー等の催しの参加者が宿泊
- シェアルーム:NAFIC学生の夜間実習や短期研修生の受入



NAFIC安倍校舎の全景



セミナーハウスの整備イメージ

## 食の拠点としての中央卸売市場の再整備を進めます。

安全・安心な市場と県民や観光客が訪れる賑わいのある食の拠点づくりを目指し、中央卸売市場の再整備を推進します。

### 平成30年度の主な取組

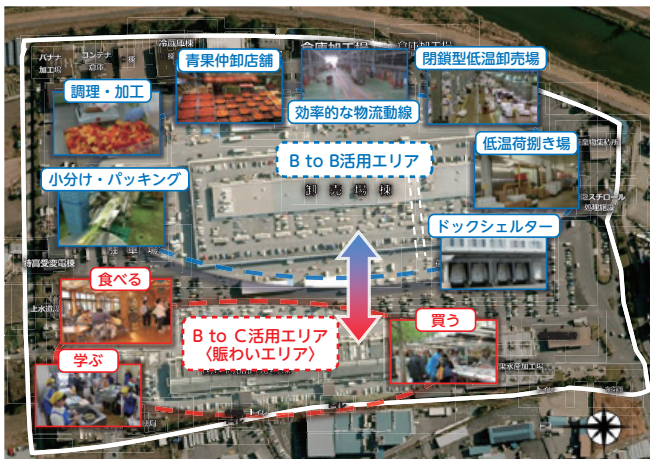
- (新)中央卸売市場再整備基本計画の策定
  - ・安全・安心で、県民や観光客が訪れる賑わいのある食の拠点づくりに向けた施設整備基本計画を策定

関連予算 H30:17百万円(H29:一百万円)

### 【目指すべき姿】

- (1) B to B(卸売機能の効率化・高性能化)
  - ・市場の基本的機能を強化し、ブランド力向上・安全安心の確保を図る。
- (2) B to C(一般消費者を対象にした新しい機能の導入)
  - ・県民や観光客が訪れる、華やかで賑わいのある食材の販売と食の拠点づくり
- (3) PFI事業等の導入
  - ・民間活力を導入し、市場経営の合理化と賑わいづくりを図る。

### 【施設再整備の考え方】



### 【施設再整備後のイメージ】



## 県産材の販路拡大を図ります。

「奈良の木」を使った「よいもの」を「つくる」、奈良の木を「広める」取組を進めます。

### 平成30年度の主な取組

- 海外への県産材販路拡大
  - ・海外の建築関係者、企業等とのマッチング支援 等
- 首都圏への県産材販路拡大
  - ・首都圏販路拡大アドバイザーを活用した首都圏等の建築・木材関係者へのセールス活動 等
- 県産スギ材を用いた弦楽器の開発
  - ・弦楽器(バイオリン・ビオラ・チェロ)の製作 等
- (新)奈良の木を使ったイベント用施設の検討
  - ・「奈良の木」の良さをPRするため、設置・撤去が簡単なイベント用施設の導入に向けた調査・検討
- (新)奈良の木を使用した家具等職人育成への支援
  - ・木材生産から最終商品まで、製造・生産・販売の流れを構築できる家具等職人の育成
  - ・市町村ごとの地域の特長を生かしたニーズのある家具生産の体制づくり
- 奈良の木の魅力情報の発信

関連予算 H30:58百万円(H29:42百万円)



家具等職人の育成



スギ材を用いた弦楽器



奈良の木見学ツアー



## 新たな森林環境管理体制を推進します。

スイスを参考として、森林の有する本来の機能である「生産・防災・生物多様性・レクリエーション」を一元的に管理する「奈良らしい新たな森林環境管理制度」の導入を目指します。

関連予算 H30:30百万円(H29:19百万円)

### 平成30年度の主な取組

- 新たな森林環境管理制度構築に向けた検討・準備及び林業事業者等への周知
  - ・リース林業教育センターへ総合アドバイスを委託
  - ・(仮称)森林環境管理条例制定に向けた検討 等
- 新たな森林環境管理体制構築に向けた検討・準備
  - ・リース林業教育センター短期講習へ県・市町村職員等を派遣
  - ・平成31(2019)年実施のリース林業教育センター実習生受入準備 等
- 新たな森林環境管理に必要な人材育成の仕組みについて検討・準備
  - ・(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー開校に向けたカリキュラムの検討 等
- (新)中高大連携森林学習プロジェクト

### 【経済と環境が両立する森林】

(スイス・ベルン州ツオリコッフェン)



スイス・リース林業教育センター

スイス・リース林業教育センターから受け入れた実習生

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、**県内への誘客を促進し、観光産業を振興**します。

## インバウンド観光戦略20年ビジョンの策定に取り組みます。

インバウンド需要は止まることを知らず増幅を続けており、日本の各観光地による争奪戦の様相を呈しています。そこで、本県では、県と有志市町村が共同で「(仮称)奈良インバウンド観光戦略20年ビジョン」の策定に取り組み、連携・協働して同ビジョンの実現推進を図ります。

関連予算 H30:9,453百万円(債務負担行為8,588百万円)  
(H29:5,531百万円)

### 平成30年度の主な取組

#### 観光地としての奈良の魅力づくり(1)

○20年後に見込まれるリニア中央新幹線の「奈良市附近」駅設置を見据え、リニア中央新幹線のインバウンド観光需要などを積極的に取り込んだ地域振興の実現を目指したビジョンの検討を進めます。

- ①滞在型観光の充実「泊まる奈良」
- 宿泊施設の質と量の充実(Accommodation)
  - ・大宮通り・奈良公園周辺における宿泊施設充実のための環境整備(大宮通り新ホテル・交流拠点整備、吉城園周辺地区の整備、高畑町周辺地区の整備)
  - ・海外ホテル事業者等を対象とした誘致活動
  - ・(新)住宅宿泊事業法への対応
- 滞在環境の快適性の向上(Amenity)
  - ・(新)外国人観光客の安心・快適な県内移動・周遊と滞在を促進するため、市町村等による受入環境整備を促進
  - ・外国人観光客の県内周遊と滞在を促進するため、市町村等による地域ならではの先駆的で意欲的な取組を支援
  - ・(新)歴史等の知識を有し、語学能力に優れた奈良県内で活躍する地域通訳案内士を育成
  - ・(新)JR・近鉄奈良駅周辺の沿道景観づくり等
  - ・奈良県外国人観光客交流館「猿沢イン」の運営
  - ・多言語コールセンターの運営 (新)医療機関向け
- 食の魅力向上(Appetite)
  - ・NAFIC(なら食と農の魅力創造国際大学校)周辺の賑わいづくりを推進



JWマリオットホテル奈良



「猿沢イン」での文化交流体験イベントの様子